

浜の活力再生プラン  
(第 2 期)

## 1 地域水産業再生委員会 (浜プラン I D 1117002)

組織名	碧南地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 石川 武範

再生委員会の構成員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大濱漁業協同組合</li> <li>・碧南市</li> <li>・愛知県西三河農林水産事務所 (水産課)</li> </ul>
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県 (農林水産部水産課)</li> <li>・愛知県漁業協同組合連合会</li> </ul>

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>愛知県碧南地区 (55 経営体、組合員総数 182 名)</p> <p>平成 29 年度末現在 ( ) 内は経営体数</p> <p>伊勢湾、三河湾及び渥美外海における沿岸漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中型まき網 (3)</li> <li>・小型底びき網 (8)</li> <li>・かご網 (6)</li> <li>・採貝 (18)</li> <li>・船びき網 (10)</li> <li>・さより網 (2)</li> <li>・三枚網 (2)</li> <li>・その他 (6)</li> </ul>
-------------------	---

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

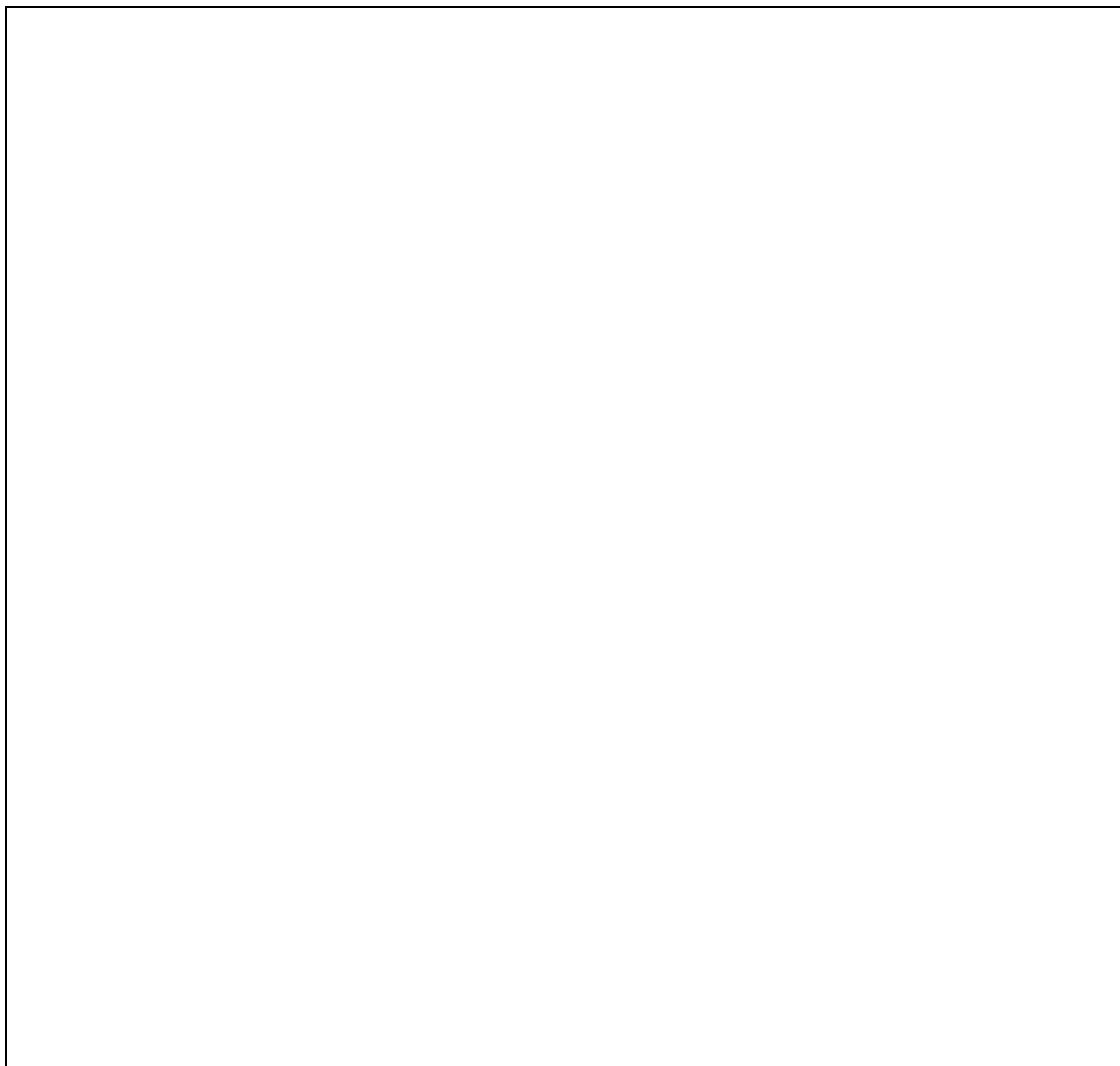
<p>碧南地区の水産業は、中型まき網や、船びき網、底びき網など様々な漁業が営まれ、多種の漁獲物が水揚げされる沿岸漁業地域である。</p> <p>平成 29 年の漁獲量は 15,376 トンで、近年の食文化の多様化や、家庭における魚料理の煩わしさによる魚の消費量の低下、安価な輸入食材の普及により魚価が低迷しており、特に、リーマンショック以降、鮮魚を漁獲する碧南地区の沿岸漁業は、魚価の低迷が著しい状態が続いている。さらに、原油の高騰等により燃油等支出の割合が年々増えているため、漁業者の生活は不安定な状況が続いている。</p> <p>碧南地区においては、漁業への新規就業者は少なく、就業者の高齢化が進み、組合員数も過去 5 か年において 18 名 (9.0%) 減少している。</p>
--

(2) その他の関連する現状等

大濱漁業協同組合は昭和55年3月31日に中部電力(株)碧南火力発電所建設に伴う漁業補償で共同漁業権を放棄した。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

地産地消による地元飲食店での新たな料理の開発をし、魚価の向上に資するとともに、資源増大及び漁獲量の安定のため、イワシ類やイカナゴを対象とした資源管理計画を実施して漁業者のさらなる所得向上を目指す。アナゴを漁獲対象とする漁業者や小型底びき網等の漁業者も資源の維持・増大を図る自主的な取組を行い、魚価安定・向上を目指す。

漁協、漁業者、水産加工業者が協力して魚食普及の取組を強化するとともに、市内の保育所、学校等で食育を行い、将来的な需要の掘り起こしを行う。

第1期から継続して定期的に省燃油活動推進事業や省エネ機器等導入推進事業への参加や自主的な省燃油活動により燃油コストの削減に取り組む。

老朽化している製氷棟の建て替えを行い、電気使用量の削減を図り、水揚げ後の鮮度維持をこれまで以上に行うことにより、よりよい状態で市場へ流通させる。

碧南魚地方卸売市場を大濱漁協が直営し、手数料の削減を目指す。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

- ・大濱漁協中型まき網漁業資源管理計画（定期休漁）
- ・愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ資源管理計画（定期休漁）
- ・愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イワシ類資源管理計画（定期休漁）
- ・太平洋広域漁業調整委員会指示第15号（イカナゴ伊勢・三河湾系群の資源管理に係る指示）
- ・愛知海区漁業調整委員会告示第6号（あなごかご漁業に関する告示）
- ・愛知県漁業調整規則第38条（漁具の制限：機船船びき網漁業、小型機船底びき網漁業の目合い制限等）
- ・愛知県漁業調整規則第44条（漁船の総トン数及び馬力数の制限：機船船びき網漁船の総トン数制限、小型機船底びき網漁船の推進機関の馬力制限）

(4) 具体的な取組内容 (毎年ごとに数値目標とともに記載)

1年目 (平成31年度)

漁業収入向上のための取組	<p>①イワシ類は、当地域の主力魚種となっているが、大浜漁港には急速冷凍機がなく、低価格で養殖向け餌料として流通している。所得の向上、経営の安定を目指すには、イワシ類の魚価向上が必須である。このため、中型まき網、船びき網漁業者は、急速冷凍機を所有し、規模が大きく流通体制の整った県内の他市場に水揚げを行い、価格向上を図る。なお、水揚げの実施にあつては、当該市場の漁協や漁業者の経営に影響を及ぼさないよう調整し、関係漁協、関係漁業者の合意を得る必要があるため、必要な調整を行う。</p> <p>②イカナゴについては、禁漁が解除されれば、試験場と協力して発生資源の成長予測等の調査を行い、資源を維持しつつ、最大の水揚金額を得られるよう、解禁日及び終漁日の設定を行うほか、小型魚の保護や禁漁区の設定に取組み、資源の維持・増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>③アナゴについては、かご数制限や網の目合規制、小型魚保護、作業時間制限を実施して、資源の維持・増大とともに漁獲量の安定を図り、魚価の安定・向上を目指す。</p> <p>④大浜漁協中型まき網漁業資源管理計画や愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ・イワシ類資源管理計画に基づき、中型まき網、船びき網漁業者は、イワシ類については定期休漁を継続して実施し、資源増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>⑤小型底びき網、さより網、三枚網、採貝、その他の漁業者も自主的な取り組みとして、定期休漁のほか、作業時間制限を設け、資源の維持・増大を図り、魚価安定・向上を目指す。</p> <p>⑥新たな需要を喚起し食用向け販売が拡大できるよう、漁協と船びき網漁業者は市内飲食店・水産加工業者等と連携して、シラスなどを使った新メニュー（B級グルメ）の開発に取り組む。（船びき網漁業者が市内飲食店に無償でシラスを提供し、開発依頼をする。))</p> <p>⑦漁業まつりにおいて、漁協、漁業者、水産加工業者が協力して、シラス干し、コノシロの酢漬け、アジの開き等の販売を継続して行うほか、かに汁を来訪者に提供することも継続して行い、魚食普及の取組を強化する。</p> <p>⑧市内の保育所、学校等でシラスなどを使った食育を行い、将来的な需要の掘り起こしを行う。</p> <p>以上の取組により、0.4%の売上増加を目指す。</p>
--------------	---

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①省燃油活動推進事業及び省エネ機器等導入推進事業に参加する中型まき網漁業者、船びき網漁業者については、定期的な船底掃除やエンジンメンテナンス、減速航行や5%以上の燃料消費量を削減する省エネ型エンジンの導入に取組み、燃油消費量の削減を図る。</p> <p>②漁業近代化資金を活用し、省エネ機器の導入を推進する。</p> <p>③上記以外の漁業者についても、自主的に定期的な船底掃除やエンジンメンテナンス、減速航行を心掛け、燃油消費量の削減に努める。</p> <p>④碧南市営漁事業補助金を活用して、製氷機、氷の搬出装置及び保冷库のメンテナンスを実施することにより、製氷関連経費を減らし、中型まき網漁業者や船びき網漁業者等が購入する氷の販売価格を下げる。</p> <p>⑤製氷棟の建て替えのための需要調査、それに基づく製氷機等の選定、建物の規模の調査等を行う。</p> <p>⑥碧南魚地方卸売市場の事業を承継する。</p> <p>⑦碧南魚地方卸売市場の市場販売手数料を下げる。</p> <p>以上の取組により、0.3%のコスト削減を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省燃油活動推進事業</li> <li>・省エネ機器等導入推進事業</li> <li>・漁業近代化資金</li> <li>・碧南市営漁事業補助金</li> <li>・碧南市漁業まつり事業補助金</li> <li>・水産業強化支援事業</li> </ul>

2年目（平成32年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①イワシ類は、当地域の主力魚種となっているが、大浜漁港には急速冷凍機がなく、低価格で養殖向け餌料として流通している。所得の向上、経営の安定を目指すには、イワシ類の魚価向上が必須である。このため、中型まき網、船びき網漁業者は、急速冷凍機を所有し、規模が大きく流通体制の整った県内の他市場に水揚げを行い、価格向上を図る。なお、水揚げの実施にあつては、当該市場の漁協や漁業者の経営に影響を及ぼさないよう調整し、関係漁協、関係漁業者の合意を得る必要があるため、必要な調整を行う。</p> <p>②イカナゴについては、禁漁が解除されれば、試験場と協力して発生資源の成長予測等の調査を行い、資源を維持しつつ、最大の水揚金額を得られるよう、解禁日及び終漁日の設定を行うほか、小型魚の保護や禁漁区の設定に取組み、資源の維持・増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>③アナゴについては、かご数制限や網の目合規制、小型魚保護、作業時間制限を実施して、資源の維持・増大とともに漁獲量の安定を図り、魚価の安定・向上を目指す。</p> <p>④大浜漁協中型まき網漁業資源管理計画や愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ・イワシ類資源管理計画に基づき、中型まき網、船びき網漁業者は、イワシ類については定期休漁を継続して実施し、資源増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>⑤小型底びき網、さより網、三枚網、採貝、その他の漁業者も自主的な取り組みとして、定期休漁のほか、作業時間制限を設け、資源の維持・増大を図り、魚価安定・向上を目指す。</p> <p>⑥新たな需要を喚起し食用向け販売が拡大できるよう、漁協と船びき網漁業者は市内飲食店・水産加工業者等と連携して、シラスなどを使った新メニュー（B級グルメ）の開発に取り組む。（船びき網漁業者が市内飲食店に無償でシラスを提供し、開発依頼をする。）</p> <p>⑦漁業まつりにおいて、漁協、漁業者、水産加工業者が協力して、シラス干し、コノシロの酢漬け、アジの開き等の販売を継続して行うほか、かに汁を来訪者に提供することも継続して行い、魚食普及の取組を強化する。</p> <p>⑧市内の保育所、学校等でシラス等を使った食育を行い、将来的な需要の掘り起こしを行う。</p> <p>以上の取組により、0.4%の売上増加を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①省燃油活動推進事業及び省エネ機器等導入推進事業に参加する中型まき網漁業者、船びき網漁業者については、定期的な船底掃除やエンジンメンテ</p>

	<p>ナンス、減速航行や5%以上の燃料消費量を削減する省エネ型エンジンの導入に取組み、燃油消費量の削減を図る。</p> <p>②漁業近代化資金を活用し、省エネ機器の導入を推進する。</p> <p>③上記以外の漁業者についても、自主的に定期的な船底掃除やエンジンメンテナンス、減速航行を心掛け、燃油消費量の削減に努める。</p> <p>④碧南市営漁事業補助金を活用して、製氷機、氷の搬出装置及び保冷库のメンテナンスを実施することにより、製氷関連経費を減らし、中型まき網漁業者や船びき網漁業者等が購入する氷の販売価格を下げる。</p> <p>⑤製氷棟の建て替えのための具体的な案を構築し、設計を行う。</p> <p>⑥碧南魚地方卸売市場の市場改修のため、需要調査、設計及びその他の計画を策定する。</p> <p>以上の取組により、0.3%のコスト削減を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省燃油活動推進事業</li> <li>・省エネ機器等導入推進事業</li> <li>・漁業近代化資金</li> <li>・碧南市営漁事業補助金</li> <li>・碧南市漁業まつり事業補助金</li> <li>・水産業強化支援事業</li> </ul>

3年目（平成33年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①イワシ類は、当地域の主力魚種となっているが、大浜漁港には急速冷凍機がなく、低価格で養殖向け餌料として流通している。所得の向上、経営の安定を目指すには、イワシ類の魚価向上が必須である。このため、中型まき網、船びき網漁業者は、急速冷凍機を所有し、規模が大きく流通体制の整った県内の他市場に水揚げを行い、価格向上を図る。なお、水揚げの実施にあつては、当該市場の漁協や漁業者の経営に影響を及ぼさないよう調整し、関係漁協、関係漁業者の合意を得る必要があるため、必要な調整を行う。</p> <p>②イカナゴについては、禁漁が解除されれば、試験場と協力して発生資源の成長予測等の調査を行い、資源を維持しつつ、最大の水揚金額を得られるよう、解禁日及び終漁日の設定を行うほか、小型魚の保護や禁漁区の設定に取組み、資源の維持・増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>③アナゴについては、かご数制限や網の目合規制、小型魚保護、作業時間制限を実施して、資源の維持・増大とともに漁獲量の安定を図り、魚価の安定・向上を目指す。</p> <p>④大浜漁協中型まき網漁業資源管理計画や愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ・イワシ類資源管理計画に基づき、中型まき網、船びき網漁業者は、イワシ類については定期休漁を継続して実施し、資源増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>⑤小型底びき網、さより網、三枚網、採貝、その他の漁業者も自主的な取り組みとして、定期休漁のほか、作業時間制限を設け、資源の維持・増大を図り、魚価安定・向上を目指す。</p> <p>⑥新たな需要を喚起し食用向け販売が拡大できるよう、漁協と船びき網漁業者は市内飲食店・水産加工業者等と連携して、シラスなどを使った新メニュー（B級グルメ）の開発に取り組む。（船びき網漁業者が市内飲食店に無償でシラスを提供し、開発依頼をする。）</p> <p>⑦漁業まつりにおいて、漁協、漁業者、水産加工業者が協力して、シラス干し、コノシロの酢漬け、アジの開き等の販売を継続して行うほか、かに汁を来訪者に提供することも継続して行い、魚食普及の取組を強化する。</p> <p>⑧市内の保育所、学校等でシラス等を使った食育を行い、将来的な需要の掘り起こしを行う。</p> <p>以上の取組により、0.4%の売上増加を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①省燃油活動推進事業及び省エネ機器等導入推進事業に参加する中型まき網漁業者、船びき網漁業者については、定期的な船底掃除やエンジンメンテ</p>



	<p>ナンス、減速航行や5%以上の燃料消費量を削減する省エネ型エンジンの導入に取組み、燃油消費量の削減を図る。</p> <p>②漁業近代化資金を活用し、省エネ機器の導入を推進する。</p> <p>③上記以外の漁業者についても、自主的に定期的な船底掃除やエンジンメンテナンス、減速航行を心掛け、燃油消費量の削減に努める。</p> <p>④碧南市営漁事業補助金を活用して、製氷機、氷の搬出装置及び保冷库のメンテナンスを実施することにより、製氷関連経費を減らし、中型まき網漁業者や船びき網漁業者等が購入する氷の販売価格を下げる。</p> <p>⑤製氷棟の建て替えを行う。</p> <p>⑥碧南魚地方卸売市場の市場改修を行う。</p> <p>以上の取組により、0.3%のコスト削減を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省燃油活動推進事業</li> <li>・省エネ機器等導入推進事業</li> <li>・漁業近代化資金</li> <li>・碧南市営漁事業補助金</li> <li>・碧南市漁業まつり事業補助金</li> <li>・水産業強化支援事業</li> </ul>

4年目（平成34年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①イワシ類は、当地域の主力魚種となっているが、大浜漁港には急速冷凍機がなく、低価格で養殖向け餌料として流通している。所得の向上、経営の安定を目指すには、イワシ類の魚価向上が必須である。このため、中型まき網、船びき網漁業者は、急速冷凍機を所有し、規模が大きく流通体制の整った県内の他市場に水揚げを行い、価格向上を図る。なお、水揚げの実施にあつては、当該市場の漁協や漁業者の経営に影響を及ぼさないよう調整し、関係漁協、関係漁業者の合意を得る必要があるため、必要な調整を行う。</p> <p>②イカナゴについては、禁漁が解除されれば、試験場と協力して発生資源の成長予測等の調査を行い、資源を維持しつつ、最大の水揚金額を得られるよう、解禁日及び終漁日の設定を行うほか、小型魚の保護や禁漁区の設定に取組み、資源の維持・増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>③アナゴについては、かご数制限や網の目合規制、小型魚保護、作業時間制限を実施して、資源の維持・増大とともに漁獲量の安定を図り、魚価の安定・向上を目指す。</p> <p>④大浜漁協中型まき網漁業資源管理計画や愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ・イワシ類資源管理計画に基づき、中型まき網、船びき網漁業者は、イワシ類については定期休漁を継続して実施し、資源増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>⑤小型底びき網、さより網、三枚網、採貝、その他の漁業者も自主的な取り組みとして、定期休漁のほか、作業時間制限を設け、資源の維持・増大を図り、魚価安定・向上を目指す。</p> <p>⑥新たな需要を喚起し食用向け販売が拡大できるよう、漁協と船びき網漁業者は市内飲食店・水産加工業者等と連携して、シラスなどを使った新メニュー（B級グルメ）の開発に取り組む。（船びき網漁業者が市内飲食店に無償でシラスを提供し、開発依頼をする。）</p> <p>⑦漁業まつりにおいて、漁協、漁業者、水産加工業者が協力して、シラス干し、コノシロの酢漬け、アジの開き等の販売を継続して行うほか、かに汁を来訪者に提供することも継続して行い、魚食普及の取組を強化する。</p> <p>⑧市内の保育所、学校等でシラス等を使った食育を行い、将来的な需要の掘り起こしを行う。</p> <p>以上の取組により、0.4%の売上増加を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①省燃油活動推進事業及び省エネ機器等導入推進事業に参加する中型まき網漁業者、船びき網漁業者については、定期的な船底掃除やエンジンメンテ</p>

	<p>ナンス、減速航行や5%以上の燃料消費量を削減する省エネ型エンジンの導入に取組み、燃油消費量の削減を図る。</p> <p>②漁業近代化資金を活用し、省エネ機器の導入を推進する。</p> <p>③上記以外の漁業者についても、自主的に定期的な船底掃除やエンジンメンテナンス、減速航行を心掛け、燃油消費量の削減に努める。</p> <p>④碧南市営漁事業補助金を活用して、製氷機、氷の搬出装置及び保冷库のメンテナンスを実施することにより、製氷関連経費を減らし、中型まき網漁業者や船びき網漁業者等が購入する氷の販売価格を下げる。</p> <p>以上の取組により、0.3%のコスト削減を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省燃油活動推進事業</li> <li>・省エネ機器等導入推進事業</li> <li>・漁業近代化資金</li> <li>・碧南市営漁事業補助金</li> <li>・碧南市漁業まつり事業補助金</li> <li>・水産業強化支援事業</li> </ul>

5年目（平成35年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①イワシ類は、当地域の主力魚種となっているが、大浜漁港には急速冷凍機がなく、低価格で養殖向け餌料として流通している。所得の向上、経営の安定を目指すには、イワシ類の魚価向上が必須である。このため、中型まき網、船びき網漁業者は、急速冷凍機を所有し、規模が大きく流通体制の整った県内の他市場に水揚げを行い、価格向上を図る。なお、水揚げの実施にあつては、当該市場の漁協や漁業者の経営に影響を及ぼさないよう調整し、関係漁協、関係漁業者の合意を得る必要があるため、必要な調整を行う。</p> <p>②イカナゴについては、禁漁が解除されれば、試験場と協力して発生資源の成長予測等の調査を行い、資源を維持しつつ、最大の水揚金額を得られるよう、解禁日及び終漁日の設定を行うほか、小型魚の保護や禁漁区の設定に取組み、資源の維持・増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>③アナゴについては、かご数制限や網の目合規制、小型魚保護、作業時間制限を実施して、資源の維持・増大とともに漁獲量の安定を図り、魚価の安定・向上を目指す。</p> <p>④大浜漁協中型まき網漁業資源管理計画や愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ・イワシ類資源管理計画に基づき、中型まき網、船びき網漁業者は、イワシ類については定期休漁を継続して実施し、資源増大、漁獲量の安定を図り、魚価向上を目指す。</p> <p>⑤小型底びき網、さより網、三枚網、採貝、その他の漁業者も自主的な取り組みとして、定期休漁のほか、作業時間制限を設け、資源の維持・増大を図り、魚価安定・向上を目指す。</p> <p>⑥新たな需要を喚起し食用向け販売が拡大できるよう、漁協と船びき網漁業者は市内飲食店・水産加工業者等と連携して、シラスなどを使った新メニュー（B級グルメ）の開発に取り組む。（船びき網漁業者が市内飲食店に無償でシラスを提供し、開発依頼をする。）</p> <p>⑦漁業まつりにおいて、漁協、漁業者、水産加工業者が協力して、シラス干し、コノシロの酢漬け、アジの開き等の販売を継続して行うほか、かに汁を来訪者に提供することも継続して行い、魚食普及の取組を強化する。</p> <p>⑧市内の保育所、学校等でシラス等を使った食育を行い、将来的な需要の掘り起こしを行う。</p> <p>以上の取組により、0.4%の売上増加を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①省燃油活動推進事業及び省エネ機器等導入推進事業に参加する中型まき網漁業者、船びき網漁業者については、定期的な船底掃除やエンジンメンテ</p>

	<p>ナンス、減速航行や5%以上の燃料消費量を削減する省エネ型エンジンの導入に取組み、燃油消費量の削減を図る。</p> <p>②漁業近代化資金を活用し、省エネ機器の導入を推進する。</p> <p>③上記以外の漁業者についても、自主的に定期的な船底掃除やエンジンメンテナンス、減速航行を心掛け、燃油消費量の削減に努める。</p> <p>④碧南市営漁事業補助金を活用して、製氷機、氷の搬出装置及び保冷库のメンテナンスを実施することにより、製氷関連経費を減らし、中型まき網漁業者や船びき網漁業者等が購入する氷の販売価格を下げる。</p> <p>以上の取組により、0.3%のコスト削減を目指す。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省燃油活動推進事業</li> <li>・省エネ機器等導入推進事業</li> <li>・漁業近代化資金</li> <li>・碧南市営漁事業補助金</li> <li>・碧南市漁業まつり事業補助金</li> <li>・水産業強化支援事業</li> </ul>

(5) 関係機関との連携

<p>毎年10月に開催される碧南市観光協会主催事業である大浜てらまちウォーキング内のイベントの一つとして、大濱漁協にて碧南市漁業まつりと称して開催する。漁協、漁業者及び水産加工業者が協力して、かに汁の提供を行う。また、シラス干し、このしろの酢漬け及びアジの開き等の水産加工品を販売する等、漁業者と市民がふれあう機会づくりや漁業を身近に感じてもらう機会づくりを設け、魚食普及を図る。また、新たな需要を喚起し食用向け販売が拡大できるよう、市内飲食店と連携して、地元水産物を使った新メニュー（B級グルメ）の開発に取り組む。</p>
--

#### 4 目標

##### (1) 所得目標

漁業所得の向上10%以上	基準年	平成25年から29年までの5年間の5中3平均： 漁業所得
	目標年	平成35年度：漁業所得

##### (2) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>基準年の漁業所得については、5年間の所得税の確定申告書をもとに、申告書のある全漁業者の漁業種ごとの平均所得を算出したのち、その年の全体平均所得を算出した。そして、5年間の全体平均所得の5中3平均を算出し、基準年の漁業所得とした。</p> <p>目標年の漁業所得については、大濱漁協中型まき網漁業資源管理計画及び愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ・イワシ類資源管理計画に基づく資源管理による漁獲量の安定、養殖餌向けが大半となっているイワシ類について、食用向けを増やすための販路拡大、それに伴う魚価の向上及びシラスなどを使った新メニュー開発などにより、毎年0.4%ずつの売上増加を見込み、約 千円の収入（所得）増を図る。</p> <p>また、減速航行、定期的な船底掃除及びエンジンメンテナンスにより燃費効率を高めるほか、製氷関係経費の削減で、燃油コストおよびその他経費を過去5年間の5中3平均から毎年0.3%ずつ削減させることにより、約 千円の経費削減を見込む。</p> <p>他に製氷棟の建て替えを行い、魚価の向上に寄与する。</p> <p>以上により、基準年の10%以上の所得向上を目指す。</p>
---

##### (3) 所得目標以外の成果目標

市場販売手数料の削減	基準年	平成30年度：販売手数料8%（碧南魚市場株式会社）
	目標年	平成35年度：販売手数料6%（大濱漁業協同組合直営）
新メニューの開発	基準年	平成30年度：1品
	目標年	平成35年度：3品

##### (4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>大浜漁港では、漁協直営の市場がなく、民間が市場を運営している。平成31年を目途に大濱漁業協同組合に営業譲渡され、漁協直営による経営の効率化を行うことができる。それに伴い、組合員に対して販売手数料を2%引き下げる。</p> <p>今期のプランでは、市内飲食店や水産加工業者等と連携して、シラスなどを使った新メニューの開発に取り組むこととしており、平成35年度までに3品開発することを目標とする。</p>
---

## 5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
省燃油活動推進事業	定期的な船底掃除やエンジンメンテナンス、減速航行を実施する等、省燃油活動を行う漁業者に対する支援 (燃油消費量の削減により、燃油経費の削減を図る。)
省エネ機器等導入推進事業	省エネ効果の高い機器を導入する場合の漁業者グループに対する導入支援 (5%以上の燃料消費量の削減を図ることができる機器等を導入することにより、燃油経費の削減を図る。)
漁業近代化資金	漁業者の資本装備の高度化及び経営の近代化を図るため、漁業者への利子補給金を補助 (省エネ機器等の導入により、燃油経費の削減を図る。)
碧南市営漁事業補助金	漁業の活性化につながる取組への支援 (機器メンテナンス等により、漁業コストの削減を図る。)
碧南市漁業まつり事業補助金	毎年10月に開催される漁業まつりへの補助 (魚食普及による魚価向上を目指す。)
水産業強化支援事業	老朽化した製氷棟の建て替えへの支援 (製氷棟の更新により、魚類の鮮度維持を図る。) 市場の改修への支援 (市場を直営にすることにより、手数料の削減を図る。)